

星よ色褪せよ

(令和四年度寮歌)

上野颯太君 作歌
渡辺麗菜君 作曲

一

蕾綻ぶ香山の

雪解はいづこや鹿仔の眼

神の食指は北を向き

羊牛摂理の空を喰む

烏合は楡の影縫わん

星の燈る野湯

二

最果て憂ぶ那由多雲

つまらぬことは不吞夜

時代に揉まれた酒に酔ひ

銃唄素知らぬ寮の歌

夜通し宵越し洄遊魚

星は明日も寝ぬ

三

雪路を征く璞玉よ

星紋寮とは誰気づく

いかれ旦那や虞美人の

出逢いと別離が恵迪町

死人に朽ち無し

さらば寮族

星よ色褪せよ